

小学校第1・2学年 指導事項		言語活動例	小学校第1・2学年 到達目標＝身に付けたい力
話題設定や取材	ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。	ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。	○ 身近なことや経験したことなどを思い出し、話題を決めている。 ○ 話すために必要な事柄を選んでいる。
話すこと	イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。 ウ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。	イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合ったり考えを一つにまとめたりすること。 ウ 場面に合わせてあいさつをしたり、必要なことについて身近な人と連絡を合ったりすること。	○ 相手や場に応じ、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて挨拶をしたり話したりしている。 ○ 気持ちを先に話し、その後理由を話している。 ○ 聞き手の方を見て、聞き手を意識して話している。 ○ 話の順序を考えながら、丁寧な言葉を使って話している。 ○ 適切な姿勢や口形を知り、適切な声の大きさや速さ、滑舌を意識して話している。 ○ 聞き手の方を向き、顔を上げて話している。 ○ 声の大きさや速さに関して、場所の違いや聞く人数の違いを意識し、大事な単語や語尾をはっきりと話している。
聞くこと	エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。	エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。	○ 話し手が話し終わるまで静かに聞き、感想をもっている。 ○ 話の大事なことを落とさないように、興味をもって聞いている。 ○ 何が大事なことなのかを理解し、聞き取れなかったことや聞き落としたことを聞き返している。
話し合うこと	オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。		○ 型に合わせて、課題を解決するための質問をしたり、質問に答えたりしている。 ○ 互いの役割に沿って話し方を工夫し、話し合っている。 ○ 聞き手の方を見て話したり、話し手の方を見て聞いたりしている。 ○ 互いの話が終わるのを待ち、意見に理由を添えて話し合っている。
小学校第3・4学年 指導事項		言語活動例	小学校第3・4学年 到達目標＝身に付けたい力
話題設定や取材	ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。	ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。	○ 関心のあることなどから話題を決めている。 ○ 話すために必要な事柄について調べ、要点をまとめ、メモしている。
話すこと	イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。 ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。	イ 学級全体で話し合ったり考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。 ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	○ 相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話している。 ○ 丁寧な言葉を用いて適切な言葉遣いで話したり、話の中心を意識して話したりと、話し手の工夫を考えて話している。 ○ メモばかりではなく相手を見て、大事な言葉や部分を強調したり、間の取り方などに注意したりして、筋道を立てて話している。 ○ 意見や質問をうながすなど、相手を巻き込むように話している。
聞くこと	エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。		○ 何が話の中心なのかということを明確に聞き取り、それについて質問したり感想を述べたりしている。 ○ 自分の目的と照らし合わせ、特に大切な情報は何かを考えながら聞いている。
話し合うこと	オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。		○ 互いの考えの共通点や相違点を考えながら、課題について話し合っている。 ○ 司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。 ○ 話し合いにおける役割と目的を理解し、それぞれの立場で参加している。
小学校第5・6学年 指導事項		言語活動例	小学校第5・6学年 到達目標＝身に付けたい力
話題設定や取材	ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。	ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。	○ 得た知識と体験とを関連付けて、自分の考えや気付いたことなどの話題を決めている。 ○ 目的に照らし合わせ、必要な内容は何かをあらかじめ考えている。 ○ 収集した情報を比較したり、分類したりして、自分の考えに生かしている。
話すこと	イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。 ウ 共通語と方言の違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。	イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。 ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。	○ 複数の内容を組み合わせ、相手に明確に伝わるように事実と意見を区別して話を構成している。 ○ 話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで意見を主張している。 ○ 共通語と方言の違いを理解し、話すときに活用している。 ○ 相手にわかりやすく話すために、一文を短くしたり、先に結論を言ったりするなどの工夫をして話している。 ○ メモを見ずに即興的に話している。また、表情やジェスチャーなどの効果も意識して話している。
聞くこと	エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。		○ 話題に沿って話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見や体験と比べて考えや感想をまとめたり、助言や提案をしたりしている。
話し合うこと	オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。		○ 話題に対する自分の考え、感じ方を明確に表現し、話し合っている。 ○ 会議の順序や進め方の調整、対立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。 ○ 論がねじれたり、話題が逸れたりした箇所を理解している。
中学校第1学年 指導事項		言語活動例	中学校第1学年 到達目標＝身に付けたい力
話題設定や取材	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。	ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。	○ 聞き手が知りたい情報を考えて、自分が話す話題を選んでいる。 ○ 日常生活や学習したことの中から、テーマについての課題を見付け、グループでの交流を通して情報を集めている。
話すこと	イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	イ 日常生活の中の話題について対話や討論を行うこと。	○ 伝えようとする事柄や事実と、自分の意見や感想とを分けて話している。 ○ 話すことの構成を考え、理由や具体例を添えて簡潔にまとめ、整理した内容を順に思い浮かべながら話している。 ○ 事実と意見の関係に注意し、相手の反応を踏まえながら話している。 ○ 話の構成を工夫し、聞き手の反応に注意しながら話している。 ○ 教室の全体に届く音量・相手が聞き取りやすい速さで話し、言葉や文の最後まで丁寧に発声している。 ○ 声の調子で大事な部分を強調し、間の取り方でリズムを生み出し、必要であれば余韻を残すように話している。 ○ アクセントや発音などに留意し、顔を上げて聞き手の顔をしっかりと見て話している。
聞くこと	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。		○ 必要な情報を、要点をおさえて確実にメモしている。 ○ 説明の要点や疑問点・感想などを、メモしながら聞いている。 ○ 聞き違いや思い込みに注意して、相手の話を正確に聞き取っている。
話し合うこと	オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。		○ 話し合いの話題や議論の方向をとらえて的確に発言したり、話し合ったりしている。 ○ 交流の時間に、質問や感想を具体的に述べている。
中学校第2学年 指導事項		言語活動例	中学校第2学年 到達目標＝身に付けたい力
話題設定や取材	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。	ア 調べてわかったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。	○ 日常生活や最近のニュースなどから、話し合うためのテーマを決め、材料を集めて整理している。 ○ 多くの人が興味をもつことや、立場により意見や考え方が明確に分かれることなどから話題を決め、様々な意見を集めている。 ○ テーマを決め、事前に、調べておけることを調べたり、質問する上で必要と思われる情報を集めたりしている。
話すこと	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。	○ 聞き手の知りたいことを想定し、論理的でわかりやすい構成を考えて説明している。 ○ 司会や提案者などの役割を決め、目的に沿って討論している。 ○ 資料や機器を活用し、写真や図表などを効果的に組み合わせ、説明したいことについて話している。
聞くこと	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。		○ 話の構成や展開などに注意して話を聞き取り、要点や順序を整理しながらメモしている。 ○ 説得力を増すための話の構成や話し方にも注意し、質問を考えながら聞いている。 ○ 発言者の意見と根拠を、自分の考えと比較しながら聞き、同意する意見や反論する意見を考えている。
話し合うこと	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。		○ 相手の考えを受け入れながら、自分の意見を述べ、目的に沿って話し合っている。 ○ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら自分の考えを広げている。 ○ 様々な意見から、それぞれの考え方を比較・検討する中で、自分の考えを広げている。
中学校第3学年 指導事項		言語活動例	中学校第3学年 到達目標＝身に付けたい力
話題設定や取材	ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。	ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたこと。	○ 聞き手の求める情報を的確にとらえ、自分の経験や知識を整理して、話す内容をまとめている。 ○ 話し合いを効率よく進めるために、論点をまとめた資料や提案に関連する印刷物、掲示物などを準備している。 ○ 社会的な課題について、説得力のある提案をしている。
話すこと	イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。	イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。	○ 聞き手の求める情報を的確にとらえ、自分の経験や知識を整理して話している。 ○ 聞き手の反応に応じて、説明や話し方を工夫している。 ○ 相手や場に応じた言葉遣いや、相手への配慮を示す言い方について考え、適切に話している。 ○ 自分の考えや意見をわかりやすく説明し、相手を説得している。
聞くこと	ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。		○ ほかの人の発言を評価しながらメモし、課題解決に向けて自分の意見と比較することにより、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりしている。
話し合うこと	エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。		○ 話し合いを効果的・効率的に展開させるために、事前に準備し、進め方について考えている。 ○ 話し合いの進行を工夫し、課題の解決に向けて、考えを生かし合っている。

※「指導事項」と「言語活動例」は『新学習指導要領』より抜粋したものである。また、小学校第1～6学年の「到達目標」は『平成23年度小学校国語 学習指導書（光村図書出版）』を参考に、中学校第1～3学年の「到達目標」は『平成24年度中学校国語（光村図書出版）』を参考にして筆者が定めたものである。表中の記号は、指導要領解説国語編に示されている指導事項及び言語活動例の記号と一致している。 【作成：京都市総合教育センター研究課】

校種	学年	指導事項「話題設定や取材」	言語活動例	到達目標＝身に付けたい力
小学校	第1学年 第2学年	ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。	ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。 イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること。 エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。	○ 身近なことや経験したことなどを思い出し、話題を決めている。 ○ 話すために必要な事柄を選んでいる。
	第3学年 第4学年	ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。	ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。 ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	○ 関心のあることなどから話題を決めている。 ○ 話すために必要な事柄について調べ、要点をまとめ、メモしている。
	第5学年 第6学年	ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識から情報を関係付けること。	ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。 ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。	○ 得た知識と体験とを関連付けて、自分の考えや気付いたことなどの話題を決めている。 ○ 目的に照らし合わせ、必要な内容は何かをあらかじめ考えている。 ○ 収集した情報を比較したり、分類したりして、自分の考えに生かしている。
中学校	第1学年	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。	ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。 イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。	○ 聞き手が知りたい情報を考えて、自分が話す話題を選んでいる。 ○ 日常生活や学習したことの中から、テーマについての課題を見付け、グループでの交流を通して情報を集めている。
	第2学年	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。	ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。	○ 日常生活や最近のニュースなどから、話し合うためのテーマを決め、材料を集めて整理している。 ○ 多くの人が興味をもつことや、立場により意見や考え方が明確に分かれることなどから話題を決め、様々な意見を集めている。 ○ テーマを決め、事前に、調べておけることを調べたり、質問する上で必要と思われる情報を集めたりしている。
	第3学年	ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。	ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。	○ 聞き手の求める情報を的確にとらえ、自分の経験や知識を整理して、話す内容をまとめている。 ○ 話し合いを効率よく進めるために、論点をまとめた資料や提案に関連する印刷物、掲示物などを準備している。 ○ 社会的な課題について、説得力のある提案をしている。
校種	学年	指導事項「話すこと」	言語活動例	到達目標＝身に付けたい力
小学校	第1学年 第2学年	イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。 ウ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。	ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。 イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること。 ウ 場面に合わせてあいさつをしたり、必要なことについて身近な人と連絡を合ったりすること。 エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それらを聞いたりすること。	○ 相手や場に応じ、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて挨拶をしたり話したりしている。 ○ 気持ちを先に話し、その後に理由を話している。 ○ 聞き手の方を見て、聞き手を意識して話している。 ○ 話の順序を考えながら、丁寧な言葉を使って話している。 ○ 適切な姿勢や口形を知り、適切な声の大きさや速さ、滑舌を意識して話している。 ○ 聞き手の方を向き、顔を上げて話している。 ○ 声の大きさや速さに関して、場所の違いや聞く人数の違いを意識し、大事な単語や語尾をはっきりと話している。
	第3学年 第4学年	イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。 ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。	ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。 ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	○ 相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話している。 ○ 丁寧な言葉を用いて適切な言葉遣いで話したり、話の中心を意識して話したりと、話し方の工夫を考えて話している。
	第5学年 第6学年	イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。 ウ 共通語と方言の違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。	ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。 ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。	○ メモばかりではなく相手を見て、大事な言葉や部分を強調したり、間の取り方などに注意したりして、筋道を立てて話している。 ○ 意見や質問をうながすなど、相手を巻き込むように話している。 ○ 複数の内容を組み合わせ、相手に明確に伝わるように事実と意見を区別して話を構成している。 ○ 話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで意見を主張している。
中学校	第1学年	イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。 イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。	○ 伝えようとする事柄や事実と、自分の意見や感想とを分けて話している。 ○ 話すことの構成を考え、理由や具体例を添えて簡潔にまとめ、整理した内容を順に思い浮かべながら話している。 ○ 事実と意見の関係に注意し、相手の反応を踏まえながら話している。 ○ 話の構成を工夫し、聞き手の反応に注意しながら話している。 ○ 教室の全体に届く音量・相手が聞き取りやすい速さで話し、言葉や文の最後まで丁寧に発声している。 ○ 声の調子で大事な部分を強調し、間の取り方でリズムを生み出し、必要であれば余韻を残すように話している。 ○ アクセントや発音などに留意し、顔を上げて聞き手の顔をしっかりと見て話している。
	第2学年	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。	○ 聞き手の知りたいことを想定し、論理的でわかりやすい構成を考えて説明している。 ○ 司会や提案者などの役割を決め、目的に沿って討論している。
	第3学年	イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。	ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。	○ 聞き手の求める情報を的確にとらえ、自分の経験や知識を整理して話している。 ○ 聞き手の反応に応じて、説明や話し方を工夫している。 ○ 相手や場に応じた言葉遣いや、相手への配慮を示す言い方について考え、適切に話している。 ○ 自分の考えや意見をわかりやすく説明し、相手を説得している。
校種	学年	指導事項「聞くこと」	言語活動例	到達目標＝身に付けたい力
小学校	第1学年 第2学年	エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。	ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。 イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること。 エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。	○ 話し手が話し終わるまで、感想をもって静かに聞き、感想をもっている。 ○ 話の大事なことを落とさないように、興味をもって聞いている。 ○ 何が大事なことをか理解し、聞き取れなかったことや聞き落としたことを聞き返している。
	第3学年 第4学年	エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。 ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	○ 何が話の中心なのかということを明確に聞き取り、それについて質問をしたり感想を述べたりしている。 ○ 自分の目的と照らし合わせ、特に大切な情報は何かを考えながら聞いている。
	第5学年 第6学年	エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。	ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。 ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。	○ 話題に沿って話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見や体験と比べて考えや感想をまとめたり、助言や提案をしたりしている。
中学校	第1学年	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。	ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。 イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。	○ 必要な情報を、要点をおさえて確実にメモしている。 ○ 説明の要点や疑問点・感想などを、メモしながら聞いている。 ○ 聞き違いや思い込みなどに注意して、相手の話を正確に聞き取っている。
	第2学年	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。	○ 話の構成や展開などに注意して話を聞き取り、要点や順序を整理しながらメモしている。 ○ 説得力を増すための話の構成や話し方にも注意し、質問を考えながら聞いている。 ○ 発言者の意見と根拠を、自分の考えと比較しながら聞き、同意する意見や反論する意見を考えている。
	第3学年	ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のもの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。	○ ほかの人の発言を評価しながらメモし、課題解決に向けて自分の意見と比較することにより、自分のもの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりしている。
校種	学年	指導事項「話し合うこと」	言語活動例	到達目標＝身に付けたい力
小学校	第1学年 第2学年	オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。	イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること。	○ 型に合わせて、課題を解決するための質問をしたり、質問に答えたりしている。 ○ 互いの役割に沿って話し方を工夫し、話し合っている。 ○ 聞き手の方を見て話したり、話し手の方を見て聞いたりしている。 ○ 互いの話が終わるのを待ち、意見に理由を添えて話し合っている。
	第3学年 第4学年	オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。	イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。	○ 互いの考えの共通点や相違点を考えながら、課題について話し合っている。 ○ 司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。 ○ 話し合いにおける役割と目的を理解し、それぞれの立場で参加している。
	第5学年 第6学年	オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。	イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。	○ 話し合いに対する自分の考え方、感じ方を明確に表現し、話し合っている。 ○ 会議の順序や進め方の調整、対立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。 ○ 論がねじれたり、話題が逸れたりした箇所を理解している。
中学校	第1学年	オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。	ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。 イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。	○ 話し合いの話題や議論の方向をとらえて的確に発言したり、話し合ったりしている。 ○ 交流の時間に、質問や感想を具体的に述べている。
	第2学年	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。	○ 相手の考えを受け入れながら、自分の意見を述べ、目的に沿って話し合っている。 ○ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら自分の考えを広げている。 ○ 様々な意見から、それぞれの考え方を比較・検討する中で、自分の考えを広げている。
	第3学年	エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。	ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。	○ 話し合いを効果的・効率的に展開させるために、事前に準備し、進め方について考えている。 ○ 話し合いの進行を工夫し、課題の解決に向けて、考えを生かし合っている。

※「指導事項」は『学習指導要領(平成20年9月)』より抜粋したものである。また、小学校第1～6学年の「到達目標」は『平成23年度小学校国語 学習指導書(光村図書出版)』を参考に、中学校第1～3学年の「到達目標」は『平成24年度中学校国語 (光村図書出版)』を参考にして筆者が定めたものである。表中の記号は、指導要領解説国語編に示されている指導事項及び言語活動例の記号と一致している。 【作成:京都市総合教育センター 研究課】